
メロディ構築術

作曲技法



第1回 作曲演習・メロディ構築術概論

音楽の構成要素とメロディ

音楽の3大要素

Rhythm

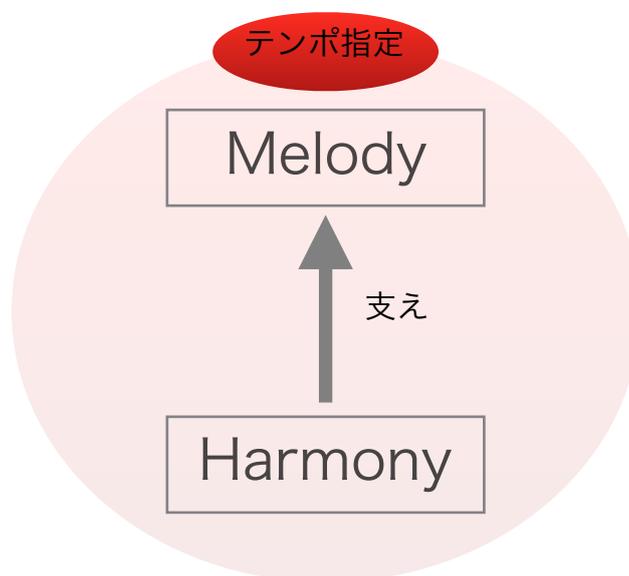
Melody

Harmony

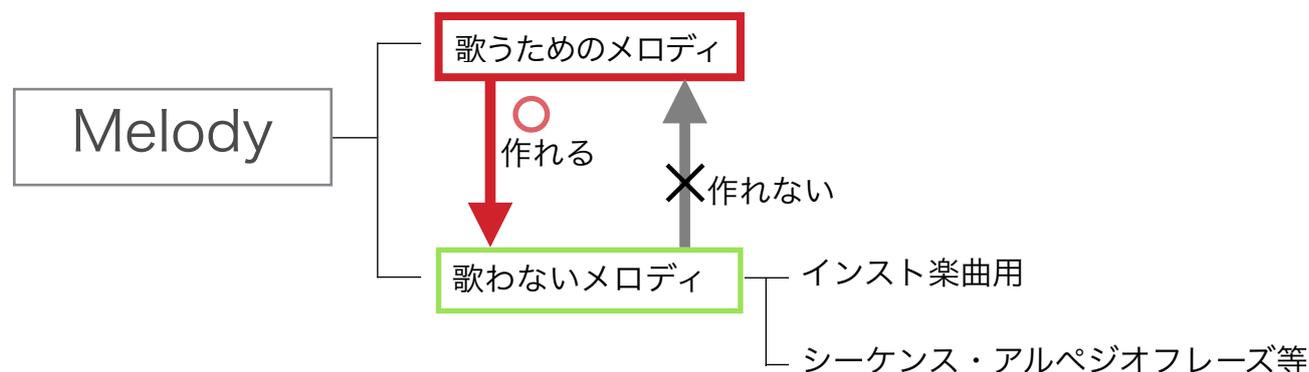
Rhythm(リズム)	拍子・ビート 一定周期、またはパターンの音	最重要要素
Melody(旋律)	音の高低・長短の変化の連続した流れ	
Harmony(和声)	複数の高さの音が重なり合いながら変化し、進行していく	

作曲の定義

メロディをコードが支えるという状態を確定させること。これにテンポ指定(リズム)が加われば作曲の著作権が発生します。メロディの無い音楽の場合は著作権の定義が難しくなります。



メロディの種類

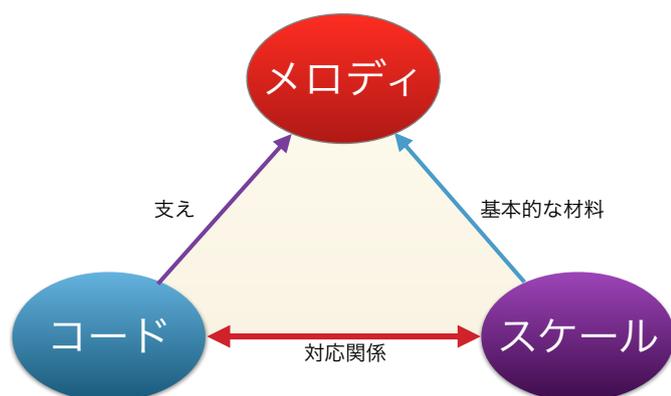


コードとメロディの関係

メロディはコードが支えることによって独自で唯一のものとなります。メロディだけを聞いておかしくなければ必ずコードで支えることができます。そして大部分においてメロディを支えるコード進行は2種類以上存在します。コード進行を「探す」のではなく「選ぶ」スキルを身につけることが重要となってきます。



作曲のできる人とできない人



作曲は「メロディ」を要素に持たなければなりません。メロディは楽曲の「顔」になることです。メロディには種類がありますが、共通したポイントで「音の高低・長短変化の連続した流れ」があります。これは「スケール」の存在を理解すればほぼ自動的に作り出すことができます。

「気持ちよく歌えるメロディ」の作り出せる人と出せない人

音楽の最難関は「気持ちよく歌えるメロディ」を作り出すことです。これができる人とできない人の差は何か？作り出せる人は普段から「気持ちよく歌う」ことを抵抗なく実践できている人です。特に声を出して歌うことは極めて重要で、実際に出す「声」と脳内で鳴る音をピアノ音などで確かめて一致させ、リンク付けさせることがメロディ構築への第一歩となります。

メロディ構築最初のステップはリズムの認識！

